

そのためドイツ指導部では、ドイツ国内で障礙者殺害のために使われていた別の手法を用いることが決定された。一月初頭には、短時間で多くの人間を殺害することができる、常設の絶滅施設の建設が始まった。最初の絶滅施設は、ルブリン近郊のベウジエツに建設され、そこにT4作戦の専門家たちがやってきた。彼らは「安楽死」計画の中止後、「東部出動」のためにやってきたのだった。さらなる絶滅施設がウーチ近郊のヘウムノ（クルムホフ）につくられた。この二か所でユダヤ人は、T4作戦の手法、つまりガスによって殺されることになった。

ヒトラーや現地の責任者たちによる個々の申し合わせや決定は、厳格な機密保持のもと行われていた。だが、ヒトラー自身がこの件について、この時期に何度も詳しく述べている。一〇月二五日、彼はハイドリヒとヒムラーに、次のように言った。

「この犯罪者の人種（ユダヤ人をさす）は、「第一次」世界大戦では二〇〇万人（ドイツ人軍人）の死に責任があつた。今度（第二次世界大戦）はふたたび、数十万人の死に責任がある。我々は彼らを沼沢地へと送り込むことはできない、などと誰も私に言ってはならない。それならいったい誰が我々の国民の心配をするのだ？ 我々がユダヤ人を根絶するという恐怖が先立つのはよいことだ」。

商榷？

2. Hunderttausend (海軍) 182

【第二章 註】

- (1) Heydrich an Ribbentrop, 24.5.1940, PAA Inl. II g 177.
- (2) Helmut Krausnick: Denkschrift Himmlers über die Behandlung der Fremdvolkischen im Osten, in: VFZ 5 (1957), S. 194-198.
- (3) Funkpruch SS-Kavallerie Regiment 2, 1.8.1941. 以下に引用せられたる。Johannes Hürter: Hitlers Heerführer. Die deutschen Oberbefehlshaber im Krieg gegen die Sowjetunion 1941/42, München 2007, S. 558.
- (4) Hitler am 25.10.1941, in: ADAP, Serie D, Bd. XIII, Anhang II, S. 835-837. 「ヤン・カーンショー前掲書(下巻)、五一七頁を参考にした」
- (5) Rede von Reichsminister Rosenberg anlässlich des Presseempfangs am Dienstag, 18. November 1941, 15.30 Uhr, im Sitzungssaal des Reichsministeriums für die besetzten Ostgebiete (Entwurf, vertraulich); PAAA, R 105192 DIX 472.
- (6) Joseph Goebbels: Eintrag vom 13.12.1941, in: ders., Die Tagebücher von Joseph Goebbels, hg. v. Elke Fröhlich, 32 Bde., München 1993-2008, Teil II, Bd. 2, S. 498 f.
- (7) [訳註] 現在のバルト三国および、ポーランド、ベラルーシの一部を含む地域。ソ連占領地域の

第三帝国

ある独裁の歴史

ウルリヒ・ヘルベルト

小野寺拓也 訳

統治の全貌が明らかに。

ヒトラーは
東欧をいかに
改造したか？



世界最高峰、最新研究に基づく入門書、

ついに邦訳!

角川新書

定価：本体1,000円(税別)